

2019/11/27 第4回 AMR対策推進国民啓発会議

# AMR臨床リファレンスセンター による啓発活動



国立国際医療研究センター病院  
AMR臨床リファレンスセンター  
情報・教育支援室長 具芳明



# 医療従事者向け教育啓発活動

- 基本方針
  - 非専門家を含め広くAMR対策の認知度向上を図り、行動変容を促す
  - 全国に情報を届け、各地の活動を支援する
  - 専門家のいない/少ない医療機関での活動を支援する
  - 広報活動を通じた広がりや、一般向け資材による誘導効果を活用する

---

## 展開している活動

---

- 情報サイトの開設（2017年9月）
- ガイドライン・マニュアルの作成：これまでに3種類作成し公開済
- 優良事例の紹介（ウェブサイト）：これまでに8事例を掲載（4件/年）
- 主催セミナーや公衆衛生従事者向け研修会を各地で開催
- 各地でのセミナーを共催・講師派遣
- eラーニングの運営
- 医療従事者向けのAMR関連情報の提供（サーベイランス結果など）
- 各種資材（ポスターなど）の作成と配布
- AMR対策サポーターの登録
- ニュースレター発行 など



列島縦断AMR対策 事例紹介シリーズ ～地域での取り組みを日本中に拡散しよう！～

Big gunプロジェクトで抗菌薬適正使用を推進

第2回AMR対策普及啓発活動 「薬剤耐性減らそう！」応援大使賞

2019年10月

このコーナーでは、薬剤耐性（AMR）対策の優良事例として内閣官房の「AMR対策普及啓発活動表彰」を受賞した活動をご紹介します。第8回で取り上げるのは、「薬剤耐性減らそう！」応援大使賞を受賞した神戸大学医学部附属病院抗菌薬適正使用支援（Big gun）プロジェクトチームの取り組みです。Big gunプロジェクトは広域抗菌薬のチェックシステムで、多職種が連携しながら適正使用を推進しています。同プロジェクトに長年携わってきた大路剛先生に、発足の経緯や活動の実態などについてお話を伺いました。

<http://amr.ncgm.go.jp/case-study/008.html>

## 主催セミナー

- AMR対策臨床セミナー（A）
  - すべての医療従事者を対象にAMR対策の基本を解説
  - AMRCRCスタッフと開催地域の専門家が講演を担当
- かぜ診療ブラッシュアップコース（B）
  - 「抗菌薬適正使用の手引き第一版」に準拠し、かぜ診療に特化して診断、治療、コミュニケーションを解説

## 公衆衛生セミナー

- 全国保健所長会 地域保健総合推進事業 薬剤耐性(AMR)対策等推進事業の中で講義と事例検討を組み合わせたセミナー（C）を開催
- 各地の自治体が開催する講習会等にも講師を派遣

## eラーニング

- 2018年6月公開、5コース71コンテンツを公開中
- 登録数（2019年9月30日現在）2,099名（薬剤師37.8%、医師35.1%、看護師13.8%、臨床検査技師5.0%、その他8.3%）

| 2017年度                   |      |    |       |
|--------------------------|------|----|-------|
| 東京都、仙台市、高松市、名古屋市、札幌市、福岡市 | A    |    | 計518名 |
| 京都市                      | B    |    | 45名   |
| 福岡市                      | C    |    | 36名   |
| 2018年度                   |      |    |       |
| 大阪市、盛岡市、福井市、横浜市、岡山市、熊本市  | A    |    | 計503名 |
| 金沢市、千葉市*、徳島市、東京都         | B    |    | 計115名 |
| 茨城県、大分県、佐賀県、青森県、高知市、鹿児島県 | C    |    | 計400名 |
| 2019年度                   |      |    |       |
| 6月22日                    | 神戸市  | B* | 18名   |
| 7月6日                     | 広島市  | A  | 124名  |
| 7月27日                    | 岐阜市  | B  | 17名   |
| 8月24日                    | 旭川市  | A  | 35名   |
| 9月21日                    | 新潟市  | B  | 16名   |
| 10月12日                   | 青森市  | A  | 121名  |
| 11月15日                   | 北九州市 | C  | (予定)  |
| 11月30日                   | 福岡市  | B  | (予定)  |
| 12月14日                   | 松江市  | A  | (予定)  |
| 1月21日                    | 平塚市  | C  | (予定)  |
| 1月25日                    | 松山市  | B  | (予定)  |
| 2月22日                    | 宇都宮市 | A  | (予定)  |

\* 指導者講習会



<https://amrlearning.ncgm.go.jp/>

# サーベイランスデータの活用

- 各種サーベイランスデータを、医療機関や地域における教育啓発に活用しやすい形で提示している
- 抗菌薬使用量・販売量サーベイランス<sup>1</sup>
  - 抗菌薬の使用量をNDB（レセプトデータベース）による集計と販売量を元にした集計によって示している
- AMRワンヘルス動向調査2018年度レポート<sup>2</sup>
  - ワンヘルス動向調査でまとめられた各種データをグラフや表で紹介している
- 薬剤耐性（AMR）ワンヘルスプラットフォーム<sup>3</sup>
  - 各分野における薬剤耐性菌の検出状況、抗微生物薬使用量や意識調査の結果などさまざまなデータを自由に確認できる
- J-SIPHE（感染対策連携共通プラットフォーム）<sup>4</sup>
  - 医療関連感染や薬剤耐性の発生状況、抗菌薬の使用状況などの情報を集約し、医療機関や地域で活用するためのプラットフォーム



1. <http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/index.html>
2. <https://amr-onehealth.ncgm.go.jp>
3. <https://amr-onehealth-platform.ncgm.go.jp>
4. <https://j-siphe.ncgm.go.jp>

# 市民向け教育啓発活動

- 基本方針
  - AMR対策、抗菌薬適正使用の認知度と基本知識の向上をめざす
  - メインターゲット：小さな子をもつ親の世代
  - ウェブサイト、イベント、医療機関などさまざまなルートを活用する
  - 全国各地での活動を支援する

---

## 展開している活動

---

- |                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| ● 情報サイトの開設（2017年9月）            | ● 川柳大会（第3回）募集中       |
| ● SNS（Facebook, Twitter）での情報提供 | ● 市民対象のイベント開催        |
| ● 各種ポスター、リーフレット、ブックレットの作成と配布   | ● 各地でのイベント支援         |
| ● 各種動画の公開                      | ● アウトリーチ活動           |
| ● 教育用資材の制作と公開                  | ● プレスリリース、メディアセミナーなど |
- 



ママタスコラボ動画「ついやってしまう抗菌薬（抗生物質）のこれはNG!」より



第2回薬剤耐性あるある川柳入賞作品（一部）

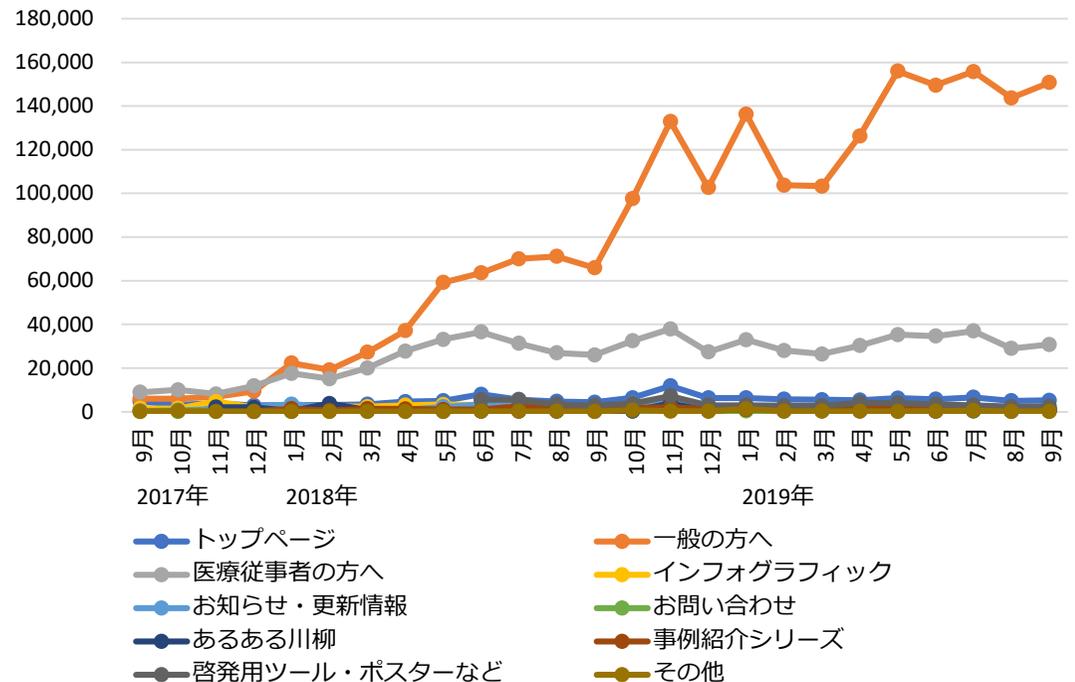
# AMR対策情報サイト

- 一般向け、医療従事者向けにわかりやすく解説
- 動画、ポスター、リーフレット、ブックレット、インフォグラフィックなどの資材を掲載
- 優良事例の紹介記事を掲載
- セミナー案内、資材送付、プレスリリースなどの窓口としても機能



<http://amr.ncgm.go.jp/>

## ページビュー数



# AMRCRC作成・配布資料



(P)



(P)



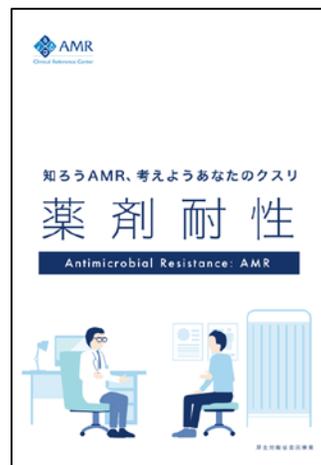
(P)



(P)



(L)



(L)



(B)



(B)

P: ポスター、L: リーフレット、B: ブックレット  
 他の資料を含め <http://amr.ncgm.go.jp/materials/> に掲載

## 市民向けイベント

- 2018年2月12, 18日 東京（日本科学未来館）
- 2018年3月18日 横浜（みなとみらい）
- 2018年8月6-10日 東京（新宿区）
- 2018年10月21日 東京（大手町）
- 2018年11月25日 東京（日本科学未来館）
- 2019年11月3日 東京（有楽町）
  - 「WORKO!フェス2019」（朝日新聞社子育て世代対象のイベント）でブース出展
  - パネル展示、クイズラリー、フォトスポットなど
- 2019年11月17, 18日 大阪（ディアモール大阪）
  - 大阪・梅田地下街でのイベント開催
  - パネル展示、ミニセミナー、フォトスポットなど

## 各地のイベント支援

- 全国各地のイベントを資材提供などを通じて支援



## 2019年薬剤耐性(AMR)対策推進月間に合わせた活動

- アニメ「はたらく細胞」を起用したポスター、リーフレット公開<sup>1</sup>
- ママタスコラボ動画「ついやってしまう抗菌薬（抗生物質）のこれはNG!」公開<sup>2</sup>
- イベント開催：11月3日（東京）、11月17-18日（大阪）
- 朝日新聞朝刊（11月1日）に全面広告を掲載、朝日新聞朝刊（11月12－16日）に小広告掲載
- 第3回薬剤耐性あるある川柳 募集<sup>3</sup>（11月30日まで）
- 各種情報の公開：抗菌薬意識調査2019<sup>4</sup>、薬剤耐性AMRワンヘルスプラットフォーム<sup>5</sup>、優良事例第8弾（神戸大学）<sup>6</sup>
- 各地でのイベント支援
- メディアセミナー開催、各種資材配布など

1. <http://amr.ncgm.go.jp/materials/>  
2. [https://youtu.be/S\\_wbo\\_6Xm3M](https://youtu.be/S_wbo_6Xm3M)  
3. <http://amr.ncgm.go.jp/information/2019senryu.html>

4. [http://amr.ncgm.go.jp/pdf/20190924\\_report.pdf](http://amr.ncgm.go.jp/pdf/20190924_report.pdf)  
5. <https://amr-onehealth-platform.ncgm.go.jp>  
6. <http://amr.ncgm.go.jp/case-study/008.html>

# かん ぼう 感冒（かぜ）

多くの人が年に数回かかる非常によくある病気です。  
たいていは自然によくなります。

## 【症状】

- ・ 鼻の症状（鼻水、鼻づまり）
- ・ のどの症状（痛い、イガイガする）
- ・ 咳、痰
- ・ 発熱、頭痛、体のだるさなど

どの症状も  
出る

あなたに  
できること



- ・ 十分な休養と栄養をとりましょう。
- ・ 汗や鼻水から水分が奪われます。脱水にならないようにしっかり水分をとりましょう。
- ・ 喫煙は咳を悪化させ、かぜを長引かせるのでやめましょう。
- ・ 咳やくしゃみが出る時は、マスクを正しく着用し、手洗いをしっかりして、周りの人にうつさないように心がけましょう。

## 【経過】 これからどうなりますか？

- ・ 3日目くらいまでは、のどの痛みや鼻水などがひどくなったり、熱が続いたりします。
- ・ 7-10日間で良くなっていきます。
- ・ 咳は3-4週間ほど残ることもあります。

## 【治療】

- ・ 今回の感冒はウイルス感染が原因と思われます。つらい症状は、解熱剤や咳止めで和らげることができます。
- ・ 細菌を退治する抗菌薬を飲んでも効果はありません。症状が軽くなったり、早く治ることはありません。
- ・ 不必要に抗菌薬を飲むと、下痢やアレルギーなどの副作用が出たり、薬剤耐性菌を生み出すことにつながります。

最初は感冒(かぜ)に見えても後から別の病気  
だとわかることもあります。

下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- 38.5℃以上の熱が4日以上続く
- 息をすると胸が痛い
- 息苦しい
- 症状が出始めて4日以上経ってもよくなるしない
- 食事や水分を取れなくなってきた
- 経過に不安がある



※免疫を低下させる薬を飲んでいる方、肺や心臓に  
病気がある方は違った経過になることもあります。  
主治医の先生とよくご相談ください。

# 急性咽頭炎

のどの痛みが主な症状です。感冒(かぜ)と同様、よくある病気です。ほとんどはウイルスが原因ですが、細菌である溶連菌(A群β溶血性連鎖球菌)が原因のこともあります。

## 【症状】

のどの痛みが、鼻水や咳よりも目立ちます



あなたに  
できること



- ・熱がある時は特に、水分を十分にとりましょう。
- ・柔らかいもの、刺激の少ないものが食べやすく、うがい痛みをやわらげるかもしれません。
- ・喫煙は症状を悪化させるのでやめましょう。
- ・咳やくしゃみが出るときは、マスクを正しく着用し、手洗いをしっかりして、周りの人にうつさないようにこころがけましょう。

## 【経過】 これからどうなりますか？

- ・のどの痛みは最初の2-3日がピークです。
- ・7-10日間でだんだんとよくなっていきます。

## 【治療】

- ・今回の咽頭炎はウイルス感染が原因と思われます。のどの痛みは、痛み止めで和らげることができます。
- ・細菌を退治する抗菌薬を飲んでも効果はありません。発熱やのどの痛みが軽減したり、早く治ることはありません。
- ・ただし、溶連菌による咽頭炎と診断され抗菌薬を処方されたときは、用法用量を守って飲み切りましょう。
- ・不必要に抗菌薬を飲むと、下痢やアレルギーなど副作用が出たり、薬剤耐性菌を生み出すことにつながります。

最初はウイルスによる急性咽頭炎に見えても後から別の病気だとわかることもあります。

下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- 呼吸しにくい、またはのどがつまる感じがしてきた
- のどの痛みで飲み込むのが難しく、食事や水分を取れない、痛み止めの効果がない
- 唾を飲み込むことも難しく、唾液がだらだら口から出る
- 4日以上経っても38°C以上の熱が続く
- 息を吸うときに、のどがつまった感じやヒューヒューという音がする
- 7-10日間経っても症状が良くなってこない、または悪くなっている

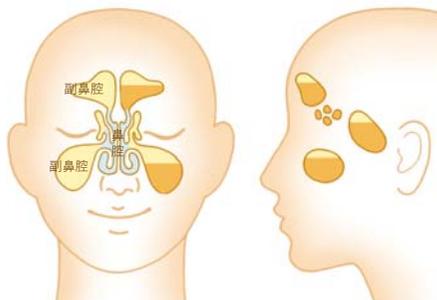
※免疫を低下させる薬を飲んでいる方、肺や心臓に病気がある方は違った経過になることもあります。主治医の先生とよくご相談ください。

# 急性鼻副鼻腔炎

かぜやインフルエンザをきっかけに、  
副鼻腔の粘膜が荒れたり腫れたりするのが副鼻腔炎です。

## 【症状】

- ・鼻水、鼻詰まり、においがわからない
- ・顔面の痛み、歯痛、頭痛・発熱、体のだるさ
- ・耳のつまる感じ・咳、痰



副鼻腔は顔の骨にある空洞で、  
鼻とつながっています。  
空気の温度や湿度を調整しています。

## 【経過】 これからどうなりますか？

- ・3日目くらいまでは熱や倦怠感が続きますが自然に治まります。
- ・鼻の症状は、2-3週間かけて徐々に治まります。

あなたに  
できること



- ・十分な休養と栄養をとりましょう。
- ・汗や鼻水から水分が奪われます。脱水にならないようにしっかり水分をとりましょう。
- ・顔を温めると症状が楽になるかもしれません。
- ・咳やくしゃみが出るときは、マスクを正し着用し、手洗いをしっかりして、周りの人うつさないようにこころがけましょう。

## 【治療】

- ・鼻水、鼻づまり、頭痛、顔の痛みがひどい時は、症状を抑える薬を使うと少し楽になるかもしれません。
- ・今回の急性鼻副鼻腔炎はウイルス感染が原因とされます。症状がひどくない限り、細菌を退治する抗菌薬は効果がありません。
- ・抗菌薬を使うと下痢やアレルギーなどの副作用がおこることがあります。
- ・まれに細菌による鼻副鼻腔炎を合併しますが、鼻水が黄色や緑色でも細菌感染とは限りません。鼻水の色だけでウイルス性と細菌性を見分けることは難しく、抗菌薬が必要かは症状の強さや経過で判断します。抗菌薬を処方されたら用法用量を守って飲み切りましょう。

最初はウイルス性の急性鼻副鼻腔炎に見えても  
後から別の病気とわかることもあります。

下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- 目の下や額のあたりの痛みが強くなってきた
- 39°C前後の高い熱が続く
- いったん治りかけた症状が再度悪化した
- 7-10日経っても鼻水が減らない



※免疫を低下させる薬を飲んでいる方、肺や心臓に  
病気がある方は違った経過になることもあります。  
主治医の先生とよくご相談ください。

# 急性気管支炎

ほとんどはウイルスが原因です。  
痰の色では原因を区別できません。

## 【症状】

- ・ 咳や痰（2-3週間続くことがあります）
- ・ 発熱、倦怠感など

## 【経過】 これからどうなりますか？

- ・ 3日目くらいまでは熱や倦怠感が続きますが自然に治まります。
- ・ 咳は数週間かけて徐々に治まります。

あなたに  
できること



- ・ 十分な休養と栄養をとりましょう。
- ・ 汗や痰から水分が奪われます。脱水にならないように、また痰を薄くして出しやすくするため、十分に水分をとりましょう。
- ・ 喫煙は咳を悪化させるのでやめましょう。
- ・ 咳やくしゃみが出るときは、マスクを正しく着用し、手洗いをしっかりして、周りの人にうつさないようにこころがけましょう。

## 【治療】

- ・ 咳がひどい時は咳止めを飲むと少し楽になります。ただし、完全に咳がなくなるわけではありません。
- ・ 頭痛や熱が辛いときは解熱鎮痛剤を使いましょう。
- ・ 今回の気管支炎はウイルス感染が原因とされます。細菌を退治する抗菌薬を飲んでも、咳が早く治るわけではありません。
- ・ 不必要に抗菌薬を飲むと、下痢やアレルギーなどの副作用が出たり、薬剤耐性菌の発生につながります。

### <肺炎を起こしやすい人>

- ・ 未熟児・高齢者・心臓や肺、腎臓、肝臓の病気がある人
- ・ 免疫状態が低下している人（免疫が下がる病気、ステロイドを使っている人など）

※これらの方は違った経過になることがあります。主治医の先生とよくご相談ください。

急性気管支炎の時は、肺炎が起こらないか注意深く観察が必要です。

下記の症状にあてはまる時は、受診してください。

- 食事や水分を取れなくなってきた
- 息苦しい、呼吸が速い
- 高熱が4日以上続く
- 顔色が悪い
- 息をするときにヒューヒューゼーゼー音がする
- 眠れないほど咳が強い
- 咳が3週間以上続く
- 血痰が出る

